

横浜にカジノ（賭博場）誘致は反対・山下ふ頭は

市民が憩い文化の薫る地域に再整備を望みます

横浜市長 林 文子 様

< 陳情趣旨 >

市長は、安倍成長戦略によるカジノ解禁に賛同し横浜にカジノ誘致を表明しているばかりか積極的な姿勢です。市はカジノ誘致に向けた調査結果を発表しましたがその内容は「経済効果4100億円、税収61億円」とし、市長は「経済効果や税収にも寄与する」と述べています。そもそも、カジノ解禁法案は刑法185条及び186条で処罰の対象とされる「賭博」に該当するものです。

カジノの弊害として周辺地域経済の衰退なども指摘されています。また、厚生労働省調査では、日本のギャンブル依存症患者は約536万人もいると発表され、カジノ解禁で依存症にさらに拍車がかかると言われています。「依存症対策などは国で行われる」との市回答で独自の施策はないようです。平和友好都市・港都横浜にカジノ誘致は反対です、山下ふ頭再開発はカジノ誘致をやめ市民が憩い文化の薫る地域にすることを訴ったえ、次のことを横浜市に求めます。

< 陳情項目 >

- 1 山下ふ頭再開発はカジノをやめ市民が憩い文化の薫る地域にすること。
- 2 横浜市はカジノ誘致をしないこと。
- 3 国のいわゆる「カジノ解禁法案」に反対すること。

名 前	住 所

取り扱い団体 〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館
カジノ誘致反対横浜連絡会（市民の会取り扱い）電話045-650-1896

2015年 月 日